

畝への追従性能を備えた生食用の青ねぎのマルチ剥ぎ同時掘取機

利用対象：青ねぎ生産者

目的：青ねぎの収穫は、かがんだ姿勢で鎌を用いて根を切り、抜き取るという手作業となっていたことから省力化を図るため、マルチ剥ぎと同時に掘り取りが可能な収穫機を開発しました。

<本収穫機の概要>

- ☑本機は畝を跨ぎ作業可能な機体フレーム、駆動輪、掘取刃、マルチ剥ぎ部、土篩部、追従輪、接地基準輪、保護フレーム等から構成され、機体サイズ（全幅:1300mm、全長:1800mm、全高:1670mm）、機体重量 343kg となり、あゆみ板で軽トラックに積載して運搬できます（図1）。
- ☑使用時には、畝の溝部に駆動輪および接地基準輪を落とし、掘取刃を畝天端から地表下 50mm 程度、マルチ剥ぎ部を畝肩付近から畝裾部の間に設定し、追従輪で畝裾部を挟みこむことで機体は畝に追従し、作業速度 1.3km/h 以下でマルチ剥ぎと同時の掘り取り作業が可能です（図2）。
- ☑畝幅 1400-1700mm（使用マルチ幅：1350mm、1500mm）に対応できます。

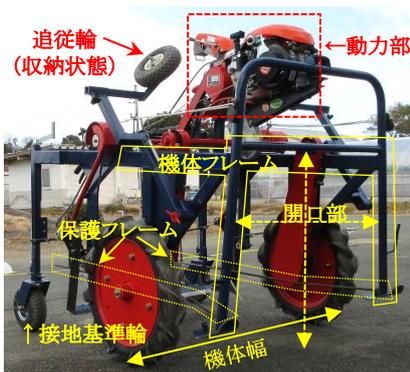


図1. 青ねぎのマルチ剥ぎ同時掘取機

左図：右斜め前方、右図：右側方



図2. マルチ剥ぎ同時掘り取り作業

<本技術の効果>

- ☑青ねぎのコンテナへの詰込み・運搬、収穫機の軽トラックへの積み降ろしを含む本機での収穫時間（1名作業を想定）は、慣行の手作業に比べ、50m（50m×1畝）では20-36分、100m（50m×2畝）では68-84分、200m（50m×4畝）では155-170分削減されます。

<活用の留意点>

- ☑本機は株式会社サンテクノから「青ねぎのマルチ剥ぎ同時掘取機（仮称）」として、1,162,000円（消費税、運賃抜き）で受注生産が可能です。
- ☑本機を用いて掘り取った青ねぎは、鎌を用いた慣行の手収穫に比べ、根が残ることから、洗浄作業時に別途、根切り（根切り付きの洗浄機）が必要となります。

お問い合わせ先	生産技術研究室 農産研究課 川原田直也 電話 0598-42-6359 中央農業改良普及センター 中村元彦 電話 0598-42-6705
参考になる資料	https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm （三重農研HP）